

事業所名

すこやかキッズスタジオ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

1 月

29 日

法人（事業所）理念		1. 生命の尊厳 2. 個人の尊厳 3. 人権の擁護 4. 社会への参加 5. 専門的な支援						
支援方針		一人一人に寄り添った関わりを大切にしながらも、集団活動を通して社会性とコミュニケーションの向上を図る。						
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・学校や保護者様からの聞き取りやお子様の観察を通して、意思表示が困難なお子様の些細な心身の変化や平常とは異なる状態を速やかに把握し、適切な対応を行う。視覚支援を中心とし、お子様一人ひとりに応じた環境の構造化を行い、本人が安心して過ごすことができるようにする。また、登所時に身支度を行う、手が汚れたら綺麗に洗う等、生活に必要な基本的技能を声掛けや視覚提示を行いながら適切な時期に獲得することができるように支援する心と身体の健康の維持・増進に努めています。こどもの健康状態の常なるチェックを行い、「靴をそろえる」「検温する」「手を洗う」「荷物を片付ける」「排泄をする」「楽しんでおやつを食べる」などの基本的な生活スキルの向上を目指します。						
	運動・感覚	・正しい姿勢で学習に取り組めるようにしていきます。・公園での粗大運動や室内でのトランポリン、ボールプール等の感覚調整遊具を通して、姿勢や運動・動作の基本的技能の向上、身体能力の向上、保有する感覚の活用を図る。						
	認知・行動	・特性に合わせて、どのような方法、環境の設定であれば円滑に学習できるかを模索し、支援します。・“少し苦手なことへも頑張ってみる”等課題勢、力をつくよう支援します。頑張ると「楽しい」「やってよかった」と感じるように関わり方や内容を工夫します。・毎回こども自身が目標設定・振り返りを行うことで、時間やルールを意識させたり、達成できたことを褒めて、自己肯定感を育みます。						
	言語 コミュニケーション	・挨拶や場面に合った言葉使い、人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得・コミュニケーション手段の活用(SST・発表する機会の提供・ロールプレイ)・年齢が上がるに連れて「いつ」「どこで」「何が」「どうした」「どうだった」など相手に伝える為の言葉、コミュニケーション力が身に付くように会話の中で質問しながら、伝達する為のスキルを伸ばす機会を作ります。“要求”“報告”“聴く”“模倣”“観察する”など、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジャスチャーやカードなど、子どもに合った方法を考え支援します。						
	人間関係 社会性	・「ありがとう」「ごめんなさい」「貸してください」「おねがいします」「どうぞ」などの言葉が相手にスムーズに言えることで、人間関係が築けるようなきっかけ作りを行います。共感、共通の話題で他者との関わりが楽しく思えるような支援をします。・活動や遊びの中で相手の行動を模倣することを促します。ごっこ遊びやルール遊びに参加し役割やルールに応じた行動を身につけ集団に参加することができるように支援します。・自分が思うようにならなかった時や失敗した時は気持ちに寄り添いながら、時には代弁し自分で落ち着けるように方法を一緒に考えたり、時には環境を整えたりします。物事を自分で考えたり、自分で決めたり「自己決定」できる力がつくように支援します。						
家族支援		・安心してご利用して頂けるよう日々の様子や体調の変化等気づいたことをお知らせします。・ご家族の負担を軽減できることがあれば対処していきます。・ご家族の就労支援、ごきょうだい児の園、学校行事などがあれば対処していきます。			移行支援		・ご家庭や併用事業所、学校などでの様子や変化を情報共有し連携を図りながら支援を行います。・年齢や進級、進学の際は将来的な生活スタイルを想定し、環境を整えたり、スキルアップの為にご家族と相談を行っていく。	
地域支援・地域連携		・必要に応じて連携しながら支援を行っていく。			職員の質の向上		・事業所の提供する支援の質を確保するため、事業所内研修の実施や外部研修への派遣を出来るだけ行う。	
主な行事等		・遠足、クリスマス会、季節に応じた工作、避難訓練等						